



第 4 回地域協働学校運営委員会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

- 日 時 平成 28 年 7 月 12 日 (火) 15 時 30 分～16 時 30 分
- 場 所 津久戸小学校 会議室
- 司 会 運営委員会副代表 川端 喜美

(松田氏より、日刊建設通信新聞 2016 年 7 月 11 日付「暗室を舞うホテル観賞 熊谷組」記事、学校より 28 年度夏休み行事予定表、夏休みの生活、津久戸小学校学校要覧など資料配布有り)

1. 川端副代表挨拶

いつもお集まり頂きまして、また本日はこのようなお暑い中をお集まり頂きありがとうございます。

代表の中井氏が欠席のため、代理で司会を務めさせていただきます。

2. 校長挨拶

本日は、東京交響楽団の方にお越し頂き、打楽器の演奏披露と指導をして頂きました。生の演奏はとても良いものであり、本物に触れる機会の大切さと、このような機会に恵まれる子ども達は幸せであるとあらためて思いました。

また、松田氏からお配りいただいた資料にもございますように、先日、熊谷組さんのホテル鑑賞会に参加させていただきました。

大都会で本物のホテルを観察することができる幸せに加え、子ども達が沢山の地域の方々に見守られていると感じることが出来ました。

3. 情報・意見交換

①校長より

- ・職員会議で話す予定の内容をここでご紹介し、本会ご参加の方々に本校の経営方針を知って頂ければと思っている。
- ・今月は体罰防止月間である。東京ではこの 3 か月間に 13 件の体罰事例があった。どうしたら防止できるか、体罰防止研修を行う。
- ・教育委員会の学校訪問があり、教育長、教育委員、指導主事の方に児童の様子をご覧頂いた。
- ・音楽朝会では、集会後に教室に戻る生徒たちの様子がとても落ち着いていると感心されていた。基本的な学習習慣が出来ており、発言に対しても返答することができるなど、児童個人の力が強いことや、校内の掲示物に統一感があること、授業の目あてがはっきりしていること、図書館教育の素晴らしさ、のこぎりを使用した工作授業の安全配慮などが良かった点として挙げられた。
- ・改善点として、人数の多い教室における児童の身の修め方や、全体的に後ろの席の児童に落ち着きが無いことなどが挙げられた。また、保護者のニーズと学校のニーズが違うのではないかと、更なる授業改革（アクティブラーニング）を、狭い校庭での体力向上の検討を、などの指摘があった。
- ・教育指導課より、体罰の他に個人情報漏えいなどの服務違反の報告と、服務事故防止研修の説明があった。
- ・学校は常に評価されており、学校評価における共通項目の設定がある。一例として、子どもは「先生の授業は分かりやすい」か、保護者は「学校が地域活動を活かした活動を行っている」か、などの評価項目がある。
- ・本校校庭で、避難所開設訓練があった。また 7 月 30 日は神楽坂阿波踊りへの参加が予定されている。
- ・子ども達一人ひとりに寄り添った教育を目指し、ニーズの違いを打開していきたい。
- ・学びとケアの学校を予定している。対話型学習については多田先生、ユーモア詩については増田先生の講演を予定している。本校は地域協働学校であるため、受講希望者は応募できる。
- ・東京都学力調査が施行された。児童が自己採点を行い、問題から見えてくることを検討した。新宿区は学力定着調査結果を公表予定である。
- ・地域にお願いするばかりではなく、地域に貢献することも考えた学校活動を行っていきたい。

②PTA より

- ・毎週金曜日の朝元気の見守りを地域協働学校活動員の方々に行って頂いている。
参加児童数が 80～130 名と多いため、見守りを 2 名から 3 名体制に増員した。夏休み期間はお休みとなるが、9 月からまた続けていければと思っている。
- ・この夏の津久戸小学校会場におけるラジオ体操は、熊谷組の松田氏に御相談し、9 名の方に体操指導をご協力を頂ける予定である。学校や PTA の困っていることを相談して、このように解決して頂くことができたのも、地域協働学校活動の賜物と考える。ラジオ体操の際には、活動員の腕章を付けて頂くことで、活動の様子をさらに知って頂けるように、学校広報なども通じてお知らせしていきたい。
- ・2 年生のまちたんけん、地域協働学校より中村氏、丸山氏の他、複数の活動員の方にご参加頂いた。

・津久戸小学校広報誌「いいぎり」が完成したら、活動員の方々にお送りさせて頂く予定である。

③地域協働学校運営委員より

- ・津久戸小学校会場のラジオ体操が開催出来ることになって良かった。育成会からの最初の案内では開始時刻が6時30分と記されていたが、その後の案内では7時30分と修正されていた。
- ・新宿区地域協働学校研修会が行われた。基調講演に東京大学大学院の勝野正章先生の講演があり、その後活動事例報告や参加者によるワークショップが行われた。
- ・白銀公園の見守り隊に、6月で活動終了の交差点の見守り隊の方々を加えて頂けるかについてはどうなっただろうか。子ども達を不審者から守ることの他に、子ども達が安全に遊べるように気を配っていききたい。公園の使用ルールを守らずに遊んでいる子どもを見かけたら注意している。また、3時から5時までの見守りは長時間でもあり、最近は蚊も出るようになってきた。
- ・本活動には責任感のある人が多く真面目な気持ちで参加していることもあり、公園の禁止事項はきっちり守らせたい人もいる。
- ・2年生のまちたんけんに参加した。赤城神社では、鳥居の所では児童がお辞儀をし、また宮司さんに一人ひとりがきちんと質問をしていた。茅の輪くぐりの作法などを教えて頂いたり楽しい時間であった。
- ・児童館へ来たまちたんけんグループの子ども達からは、「今日はお忙しいところありがとうございます」とのあいさつの後に「児童館には泊まれないの？」との質問があった。「泊まりたいの？」と尋ねると「泊まりたい」とのことであった。これまで児童館に来たことが無い子どももいて、興味深そうに館内を見学していた。
- ・他の小学校地域から白銀公園に遊びに来る方の中には、地域協働学校の公園見守り活動に興味を示される保護者の方もいる。

④熊谷組松田氏より

- ・先週はホテル観賞会を行い、大勢の方に参加して頂いた（配布資料有り）。
- ・毎年、2年生にはエコバックを作る研修を、4年生には環境学習を行っているが、環境学習に参加した4年生の中に、2年生の時に作ったエコバックを持ってきていた児童がいた。バックを持っていてくれたことを職員が喜んでた。

⑤学校より

- ・公園の見守りについては3時から5時までずっとではなく、その間の5分から10分でも通りすがりに見守って頂くという感じでも良いのではないかと、それくらいの方が活動が続くのではないかと思う。また、昨今、責任感から行動することでかえって危険な目に遭う場合も考えられるため、ご無理のない範囲で活動して頂けたらと考えている。
- ・一方、保護者の方から、見守りの方は何時頃公園にいて下さっているのですか、との問い合わせもあった。
- ・学校公開の時に、地域協働学校の方々とお互いに顔を合わせる機会を設けたいと考えている。
- ・校庭の工事が始まると休み時間に身体を動かして遊ぶ場所が無くなるため、どうしたら良いか考えている。
- ・夏休みの行事予定として、プール指導、5年生夏期施設、ラジオ体操、あわおどり、図書館解放などがある（配布資料有り）。
- ・牛込警察署から安全について、アイコンタクトをとろう、自転車に乗る時はヘルメット着用を、子どもだけで行っていない場所には子どもだけでは行かないなど、あたり前のことをあたり前に生活することなどの話があった。
- ・宮城道雄記念館より、箏を四面ご寄贈頂いた。
- ・例年長い休みの前には、民生指導委員の方にも見守って頂くようご連絡さし上げている。
- ・児童の阿波踊りの集合は、7月30日午後5時校庭集合、午後6時踊り開始予定である。
- ・新しく着任された音楽教諭の長見みどり先生をご紹介します。
- ・長見みどり先生：まだ力不足ですが、一人ひとりの子ども達を活躍させたい、6年間で心に残る音楽の授業を行っていきたいと思っています。

出席者

川端喜美、高梨昌代、奈須野稔久、丸山勝子、林 天延、大塚 香、松田和繁、八田瑞穂、内藤徳子（副校長）、滝上康之（主幹教諭）、大井裕達（教務主任）、長見みどり（音楽教諭）森修二（教育支援課事務局）、書記（松村優子、PTA 副会長）

地域協働学校運営委員会メンバー

代 表 中井啓之（卒業生、元 PTA 会長）
副代表 川端喜美（青少年育成委員会、総務部長）
委 員 高梨昌代（スクールコーディネーター）
奈須野稔久（赤城元町前町会長）
丸山勝子（箆笥町地区民生児童委員）
林 天延（PTA 会長）
小川恭伸（元 PTA 会長）
大塚 香（東五軒町児童館・学童クラブ・地域交流館 総合館長）
松田和繁（株式会社熊谷組 CSR 推進室 CS 推進グループ長）
八田瑞穂（校長）

地域協働学校運営委員会はすべて公開です。どなたでも傍聴や見学をすることができます。